

第 3 章

計画における目標

- | | |
|-------------------------------|----|
| 1 特定健康診査・特定保健指導の実施率等の目標 | 26 |
| 2 がん検診の受診率の目標 | 28 |

1 特定健康診査・特定保健指導の実施率等の目標

- 医療費適正化の実現は、目標を掲げ、目標を実現するための施策を計画的かつ着実に実施していくことが極めて重要です。
- 特定健康診査・特定保健指導について、計画期間中に達成すべき目標を次のとおり定めます。

特定健康診査の受診率

目標数値

65%以上

平成 29 (2017) 年度において 40 歳から 74 歳までの対象者の 65%以上が特定健康診査を実施することとする。

特定保健指導の実施率

目標数値

45%以上

平成 29 (2017) 年度において当該年度における特定保健指導が必要とされた対象者の 45%以上が特定保健指導を受けるものとする。

- 特定健康診査・特定保健指導の実施率を向上させるため、各保険者が、それぞれの目標値として設定し、施策の実施に努めることにしています。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率

成果指標

25%以上

平成 20 (2008) 年度と比べた平成 29 (2017) 年度時点でのメタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合が 25%以上減少することを指標とする。

- メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率については、特定健康診査・特定保健指導の実施率を向上させることで、該当者等が減少するという国の考え方により、算出した減少率を成果指標とします。

○ 次の表は、保険者種別毎のそれぞれの目標値と、計画期間が5年である本計画の目標値の進捗状況を検証するため、毎年度の実施率を示したものです。

表 3-1 年度別目標値

区 分	年度別				目 標 値
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健康診査	41%	47%	53%	59%	65%
特定保健指導	22%	28%	34%	39%	45%

表 3-2 保険者別目標値

区 分	特定健康診査		特定保健指導	
	平成22年度 実績値	目標値	平成22年度 実績値	目標値
県 保 険 者 計	37.3%	65%	17.1%	45%
市 町 国 民 健 康 保 険	18.7%	45%	26.5%	60%
全 国 健 康 保 険 協 会	35.0%	65%	15.2%	30%
国 民 健 康 保 険 組 合	68.1%	70%	27.6%	30%
健康保険組合(単一健保)		90%	17.4%	60%
健康保険組合(総合健保)		85%		30%
共 済 組 合		90%	10.3%	40%

2 がん検診の受診率の目標

- がん検診については、計画期間中（平成25年度～29年度）に達成すべき目標を次のとおり定め、検診受診率の向上に向け、施策の実施に努めます。

がん検診の受診率【40歳(子宮がん20歳)～69歳】

区分	現状（平成22年）	目標	活用する調査
胃がん	32.6%	50%以上	国民生活基礎調査 （厚生労働省）
肺がん	23.3%		
大腸がん	23.3%		
子宮がん	40.0%		
乳がん	36.9%		

市町が実施するがん検診の受診者数【40歳(子宮がん20歳)～69歳】

区分	現状（平成22年度）	目標	活用する調査
胃がん	44,747人	6割増	地域保健・健康増進 事業報告 （厚生労働省）
肺がん	63,701人	10割増	
大腸がん	61,821人	10割増	
子宮がん	148,707人	3割増	
乳がん	93,333人	4割増	